

薬物乱用は重い犯罪です! 脳をおかされ、こころも体もめちゃくちゃになります!

MDMA(合成麻薬)使用者の証言

路上で暴れ、病院につれていかれた。入院すると「暑い、暑い」と全裸になり、1ヵ月の興奮状態がつづき、「バカヤロー、部屋から出せ」と大声でわめき散らして食事を床に投げつけたり、医者などに殴りかかり、「自分は鬼になっている」と妄想に取りつかれてしまった。
(18歳男子)

MDMAを飲んだら眠れなくなってしまった。頭が回転しなくなり、気分が落ち込んでしまって、学校の先生の話が1割も頭に入らなくなってしまった。もう6ヵ月も経つのに一向に元に戻らない。つらくて仕方がない。
(中学生女子)



このように、麻薬、覚せい剤はわたしたちの身近なところまで忍び寄っています。もはや他人事ではありません。麻薬に関する正しい知識を持ち、「ダメ、ゼツタイ」と断る勇氣を持つことが大切です。

薬物乱用が子どもたちにも

更生保護ネットワーク
名張保護司会便り
No.13

主

人はみな、生かされて生きてゆく

発行 名張保護司会
〒518-0718
名張市丸之内79 総合福祉センターふれあい館
☎63-1111 FAX 64-3349

愛の資金は更生保護事業に活用されています

「BBSライブ '09」が総合福祉センターふれあいで開催され、大勢の若者が心のメッセージをメロディにのせて、ステージ上で歌やパフォーマンスを披露しました。この催しは今年で11回目。



「BBSライブ '09」 9月6日開催

若者たちが企画段階から運営にかかわるといふことを主な目的とした催しで、仲間作りの場ともなっています。

BBS会とはさまざまな問題を抱える少年の兄や姉のように身近な存在として、「同じ目の高さ」で接しながら少年が自分自身で問題を解決し成長するための支援をするとともに、犯罪や非行のない地域社会を目指す青年ボランティアです。BBS会ではメンバーを募集しています。一緒に活動していただける人は、nabaribbs@mail.goo.ne.jpへご連絡ください。



犯罪や非行をした人を雇用し、立ち直りを助ける「協力雇用主」を募集しています

なぜ犯罪や非行をした人に就労支援するのか? 不思議に思われるかもしれせん。犯罪や非行をした人を排除するばかりでは、安全な社会を実現することはできません。これらの人たちが社会に帰ってきたとき、その更生の決意を支え、立ち直れるよう援助し健全な社会の一員とすることが必要です。

特に職に就き、責任のある社会生活を営むことは、立ち直りに向けた大きな始まりの一步になるのです。試行雇用(試行雇用奨励金)、身元保証システム(損害賠償見舞制度)などがあります。詳しくは保護司会事務局までお問い合わせください。

第59回「社会を明るくする運動」募金は、皆さんの深いご理解とご協力により大きな成果を上げることができました。募金は次の事業に活用させていただきました。愛の資金は各地区を通じて市内の全世帯に呼びかけ、ご協力をいただいております。

ご協力いただいた皆さんに厚くお礼申し上げます。

募金総額 169万325円

(2月1日現在)

社会を明るくする運動事業	699,325円
保護司活動費用事業	400,000円
更生保護女性会事業	120,000円
名張BBS会事業	50,000円
更生保護司大会	200,000円
県更生保護事業協会助成	221,000円

更生保護女性会 30周年記念式典

女性会会足30周年記念大会



名張市更生保護女性会は昨年30周年を迎えました。

10月31日の記念式典では、歌手で長年更生保護事業に貢献された千葉絃子さんに記念講演をしていただきました。

千葉さんは、篤志面接委員として、21年間、非行や犯罪をした少女たちとの面談や歌の指導にあたってこられました。少女たちとの触れ合いについて感動深くお話ししてくださいました。

更生保護女性会は、女性として母としての立場から地域の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動や、犯罪者・非行少年の更生に協力しています。刑務所や更生保護施設への慰問、学校での挨拶運動などを行っています。

伊藤和子杯 中学生卓球大会



スポーツを通じて青少年の健全育成を図る目的で開催され、今年で5回目となりました。

全日本卓球選手権で前人未到の100勝という記録を樹立された名張市在住の伊藤和子先生の実技指導に続き、試合が行われました。伊藤先生からは「卓球が好きで目標を持っては上達する。他の選手をまねることから始めよう。卓球は足です」と思ってください。卓球は「まだまだ自分の卓球に満足していない。一生卓球を続けると思う」という力強い言葉もありました。